

問1 室町時代後半から戦国時代にかけて、実力のある者が身分の高い者に打ち勝って勢力を広げていく社会風潮が見られました。このような風潮を何と呼びますか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)

1. 惣領制 2. 下剋上 3. 徳政令 4. 寄合

問2 ヨーロッパからアジアへ向かう海上航路において、アフリカ大陸の南端に位置し、中継地点として重要な役割を果たした場所の名称として正しいものはどれですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)

1. 喜望峰 2. マゼラン海峡 3. パナマ運河 4. スエズ運河

問3 戦国時代、鉄砲の伝来などにより戦術が変化し、大規模な軍事力とそれを支える安定した領地経営が不可欠となりました。こうした中、戦国大名が領国内の紛争を禁じたり、年貢の徴収を確実にしたりする目的で定めた「分国法」の性質として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 和歌山公立入試 類似)

1. 朝廷が全国の公家や武士に対して一律に適用した法律である。 2. 幕府の許可を得た大名だけが、他国との貿易を制限するために定めた規則である。 3. 戦国大名が、室町幕府の法によらずに自らの領土を統治するために独自に定めた法律である。 4. 鎌倉時代の慣習法を整理し、武士の裁判を公平に行うために幕府が定めた法律である。

問4 戦国時代、室町幕府の支配力が弱まる中で、各地の戦国大名が自らの領国内の家臣や領民を統制するために独自に定めた法律を何と呼びますか。 (2020年 佐賀公立入試 類似)

1. 分国法（家法） 2. 御成敗式目 3. 武家諸法度 4. 公事方御定書

問5 16世紀半ばに種子島へ伝来した鉄砲は、その後の日本の戦い方を大きく変えることとなりました。鉄砲の普及が戦国時代の社会や軍事面に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)

1. 足軽などの歩兵による集団戦法が主流となり、戦いの規模が拡大した 2. 騎馬武者の一騎打ちが重視されるようになり、個人の武勇がより重んじられた 3. 鉄砲の製造が困難であったため、京都周辺の限られた大名だけが勢力を伸ばした 4. 武器の威力が向上したため、平地での戦闘を避けて山城にこもる戦術が一般的になった

問6 将軍のあとつぎ問題などを原因として1467年に発生し、約11年間にわたって続いた戦乱は、幕府の力を決定的に弱め、社会全体に「下剋上」の風潮を広める大きな契機となりました。この戦乱の名称を選びなさい。 (2020年 千葉県公立入試 類似)

1. 承久の乱 2. 観応の擾乱 3. 応仁の乱 4. 島原の乱

問7 1549年にフランシスコ・ザビエルが日本に上陸し、キリスト教を伝えた背景には、当時のヨーロッパにおける宗教情勢が深く関わっています。キリスト教が日本に伝えられるに至った直接的な背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)

1. 宗教改革によるカトリック教会の勢力衰退に対し、新たな信者を獲得するためにアジアなど海外への布教が重視された。 2. ルネサンスの進展によって人間中心の考え方が広まった結果、宗教の枠組みを超えた世界規模の文化交流が推奨された。 3. 十字軍の遠征が失敗に終わったことで、キリスト教徒がイスラム教勢力に対抗するための同盟国を東アジアに求めた。 4. ルターが自身の教えを世界に広めるために組織を設立し、その活動の一環として日本が最初の布教先選ばれた。

問8 戦国時代、各地の戦国大名は自らの実力で領国を統治するために独自の法令を制定しました。これらの法令において、「家臣同士が勝手に婚姻を結ぶことを禁止する」や「領国内での勝手な築城を禁止する」といった項目が盛り込まれた主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)

1. 領国内の家臣や国衆の結びつきを制限し、大名による領国支配を強化するため 2. 鎌倉幕府が定めた御成敗式目の内容を、全国の農民に分かりやすく広めるため 3. 江戸幕府が定めた武家諸法度を遵守し、将軍への忠誠心を示すため 4. 朝廷から与えられた守護としての権限を、隣接する他の領国へ拡大するため

問9 16世紀のヨーロッパで起こった宗教改革の背景やその内容を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)

1. カトリック教会が資金集めのために販売した免罪符に対し、ルターが抗議の声を上げた。 2. 蒸気機関の発明によって生産効率が向上し、資本主義経済が急速に発展した。 3. 北アメリカの植民地がイギリスからの独立を宣言し、近代的な民主主義国家を樹立した。 4. モンゴル帝国が勢力を拡大し、中国を支配して国号を元と定めた。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 下剋上	室町幕府の権威が衰退した応仁の乱以降、身分に関わらず実力のある者が台頭する「下剋上」の風潮が強まりました。これにより、もともと守護大名の家臣であった守護代や、さらにその下の国人が、主君を追放して戦国大名へと成長していく動きが各地で加速しました。
問2	答え 1 喜望峰	アフリカ大陸の最南端付近にあるこの地点は、ポルトガルの航海者バルトロメウ・ディアスによって到達され、のちにバスコ・ダ・ガマがここを通過してインド洋へと入り、インドへの航路を確立しました。大航海時代におけるインド航路の象徴的な中継地点です。
問3	答え 3 戦国大名が、室町幕府の法によらずに自らの領土を統治するために独自に定めた法律である。	戦国時代には戦術が騎馬戦から足軽や鉄砲を用いた集団戦へと変化し、大名は家臣や農民を効率的に動員する必要がありました。そのため、幕府の権威を否定し、自分の領国内（分国）のルールを自分自身で決定する分国法が作られました。これには「喧嘩両成敗」のように私的な争いを禁じ、大名による裁判を徹底させる内容などが含まれています。
問4	答え 1 分国法（家法）	室町幕府の権威が衰退し、守護大名が自立して戦国大名へと成長する過程で、自らの力で領国を維持・統治する必要が生じました。そこで、大名は幕府の法律に頼らず、独自の統治ルールとして分国法を制定しました。今川氏の『今川仮名目録』や武田氏の『甲州法度之次第』などがその代表例です。
問5	答え 1 足軽などの歩兵による集団戦法が主流となり、戦いの規模が拡大した	鉄砲はそれまでの弓や刀に比べ、習得が比較的容易で高い殺傷能力を持っていたため、大量の足軽に装備させて組織的に運用する集団戦法を生み出しました。これにより、一騎打ちを中心とした従来の戦い方は衰退し、織田信長が長篠の戦いで活用したように、大規模な軍事力を持つ戦国大名が有利になる社会構造へと変化しました。
問6	答え 3 応仁の乱	この戦乱によって政治の中心地である京都が荒廃し、将軍や幕府の権威が失墜しました。その結果、地方の武士たちが幕府の指示を仰がずに実力で領地を奪い合うようになり、下剋上の世の中、すなわち戦国時代へと突入していきました。
問7	答え 1 宗教改革によるカトリック教会の勢力衰退に対し、新たな信者を獲得するためにアジアなど海外への布教が重視された。	ルターによる宗教改革の影響で、ヨーロッパ内でのカトリック教会の勢力が弱まりました。これに危機感を抱いたカトリック側は、失った勢力を補い、教勢を回復させるために、大航海時代でつながったアジアなどの海外諸国へ積極的に進出しました。イエズス会の活動はこの一環であり、日本へのキリスト教伝来もその大きな流れの中に位置づけられます。
問8	答え 1 領国内の家臣や国衆の結びつきを制限し、大名による領国支配を強化するため	戦国大名は、室町幕府の権威が衰退する中で、自らの実力で領地を治める必要がありました。分国法は、家臣たちが勝手に同盟を組んだり（婚姻の制限）、独自の軍事拠点を持ったり（築城の制限）することを防ぎ、大名を中心とした一元的な統治体制を築くために制定されました。これにより、領国内の紛争を裁定し、団結力を高める狙いがありました。
問9	答え 1 カトリック教会が資金集めのために販売した免罪符に対し、ルターが抗議の声を上げた。	宗教改革は、ルターが「九十五か条の論題」を発表し、カトリック教会の教えではなく聖書の内容こそが正しいとする立場をとったことで始まりました。他の選択肢のうち、産業革命は18世紀後半、アメリカ独立戦争は18世紀後半、元の成立は13世紀の出来事であり、16世紀の出来事ではありません。